

大江專一

おほえ

繙譯家、評論家。明治二十五年一月十一日徳島縣生

れ、昭和二十年五月二十九日歿（八九二—一九五五）。筆名伴大矩、葦田坦、

蘆田多寧、露下淳。アメリカに渡りコーネル大學卒。アメリカ事情に

精通し、『ルーズベルト』（昭和八年二月一日大日本雄辯會講談社）、

『米國の内幕』（昭和十六年二月十八日、再刊・十七年七月二十日有

光社）等も著はず。

譯書に、W・B・ピットキン著『人生は四十から』（昭和九年一月）

十二日中央公論社）、アガサ・クリスチイ作『A・B・C殺人事件』

（伴大矩名、昭和十年十一月二十日日本公論社）『英米探偵小説新傑作

選集』（エレライ・クキーン作『希臘樞の秘密』（伴大矩名、昭和

十一年四月十五日サイレン社）、ラルフ・タウンSEND著『米國極東

政策の真相』（昭和十二年七月十七日日本國際協會）『日本國際協會叢

書』（ジヨン・ガンサー著『歐洲の内幕』（昭和十四年一月二十日

今日の問題社）、リチャード・E・バード著『孤獨（氷の家の記録）』

（昭和十四年四月二十日大東出版社）、ハルース・ランキヤスター作

『出島』（鮎澤浩共譯、昭和十四年七月十一日足利書房）、パール・

バック作『山の英雄』（葦田坦名、昭和十五年五月二十日改造社）、

フランシス・E・ズング著『パストワール傳人類の大恩人』（昭和十五年十

月十日青年書房）、ハリリー・ナランク著『南支遊記』（指田文三郎共

譯、昭和十六年一月二十八日大阪・朝日新聞社『大陸叢書』）、ジユ

ール・ロマン著『歐洲の七不思議』（昭和十六年二月八日新世社）、

ヘンリー・ジェームス著『滿洲踏査行』（指田文三郎共譯、昭和十六

年二月二十五日大阪・朝日新聞社『大陸叢書』）、ジヨージ・フレミ

ソグ著 早稲田新聞行刊 (指田文三郎共譯) 昭和十六年九月二十日大阪・
朝日新聞社「大陸叢書」等。